

## 部 会 議 事 録 (まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和6年度 第5回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2024年9月19日(木) 午後3時00分から午後5時30分
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：13人(総数20人) 出席者：畠山会長、澁谷副会長、岡田委員、馬場委員、阪井委員、藤原委員、塚田委員、徳江委員、小原委員、甘粕委員、金子委員、山本委員、飯森委員 欠席者：岩田委員、上條委員、山口委員、山岡委員、矢島委員、岡野委員、三觜委員 事務局：6人 森井センター長、高橋主幹、笠原、下間、渋谷、柴田、脇田
報 告	<p>3 報告</p> <p>(1) 前回全体会について 事務局から議事録の事前送付を失念したため、資料1については、ご帰宅してからお読みいただき、修正点等あれば事務局まで連絡いただきたい。</p> <p>(2) 地域団体からの情報提供等 [藤原委員(生活環境協議会)] 8月中に片瀬海岸付近のごみ拾いキャンペーンを実施した。暑さ対策をする必要性を強く感じた。最終日に江の島海水浴場協同組合よりアクエリアスを協賛でいただいた。このアクエリアスは、飲料業者(コカ・コーラ)が消費期限が近い商品を廃棄する前に海水浴場組合等の団体にフードロスの取り組みとして融通したものを提供いただいた。</p> <p>[阪井委員(スポーツの会)] 10月6日(日)のスポレクの開催案内。今年度は片瀬小学校の開催であり、実施時間も午前中のみ開催となる。</p>

議 題

4 議題

(1) WG開催結果報告について

各WGにおいて、9月中に第1回WGをそれぞれ開催した。報告を各委員からお願いしたい。

ア 片瀬&江の島歴史文化見直しWG ( 委員)

主に自己紹介等の相互理解を行った。昨年まで郷土文化推進部会にて実施した事業として片瀬・江の島歴史文化継承事業と民族文化財等継承事業があり、これらを基本的には継承していくこととした。

ただし、民族文化財等継承事業において積極的に普及することが難しいため、片瀬・江の島歴史文化継承事業に比重をおいて進めることとし、主に江の島道の整備等について実施していくこととした。

今後のWGの開催日時だが、毎月第〇曜日の開催としたかったが、仕事ある人もいるため、毎回予定を伺うこととした。次回WGは10月23日(水)17時から開催予定。また、江の島道の現地調査も次回10月11日に実施予定。

イ ごみとマナーの向上を考えるWG ( 委員)

協力員2名参加し、自己紹介を中心に第1回WG実施した。藤沢市のごみの流れを把握するため、今後は環境部局と日程調整していく予定。

ウ 生活防災を考えるWG (事務局)

第1回WGでは、自己紹介、本WGでの取組事業、今後の取組について協議した。

取組事業については、 委員から前回の全体会でご提案いただいた

- ① アートを用いた津波避難誘導
- ② 貸し借りボックス
- ③ 3D津波避難マップの3つの事業を段階的に取り組むこととした。

今後の取組については、①アートを用いた津波避難誘導を進めるにあたり、10月は現状把握を行い、11月あたりでアートを描く場所を探すことを目的としたフィールドワークを行うこととした。

次回の日程は10月21日に実施予定。

【質問・意見】

[ 委員]

アートを描く場所について、壁面等を想定しているのであれば所有者もよく確認しながら対応したほうが良い。勝手に書くと犯罪になってしまう。

エ 広報WG（事務局）

9月17日（水）に開催した。昨年度行った事業の確認と今年度以降行う事業の確認を行い、その中で出た意見を抜粋して報告させていただく。

まず、片瀬地区ポータルサイトについて、昨年度から改善を図ってきたが、それでも見づらいつい意見があり、これ以上改善するためには、根本から作り変えるしかないという意見があった。

次に、回覧の電子化について、これも昨年度から実施してきた事業であり、QRコードは昨年配布済みだが、ただ、配布したものがどの程度活用されているのか検証ができておらず、QRコードにタグを埋め込めばアクセス数を調べることができるため、タグを埋め込んだQRコードを再度配布することを今後検討していくこととした。

最後に、SNSの活用について、昨年度もインスタグラムの運用を検討したところであるが、インスタグラム以外のSNSについても今後検討していくこととした。

【質問・意見】

[ 委員 ]

協力員の運用について確認したほうが良い。これまでのまちづくり協議会では、役員会、全体会の確認を経てから、協力員を認めていた過去がある。

そのため、改めて協力員制度の運用方法について確認したほうが良いのではないか。

[事務局]

片瀬地区郷土づくり推進会議運営要領第11条の中で、役員会及び全体会の承認が必要との文言があった。

[ 会長 ]

これまでのまちづくり協議会の経過として、委員の任期が2年ということで、任期が切れてしまった方が協力員として参加いただいたケースが多かった。新規の協力員については、現状役員会を開催していないので、全体会の場で各WGから報告してもらい、承認を得るといふ流れであればどうか。

[ 委員 ]

全体会で承認をいただくためには、所定の用紙に協力員の名前を記入して、提出する形になるのか。

[ 委員 ]

まだ各WGが動き出したばかりなので、今後整理していく形ではないか。

[事務局]

まだWGが始動したばかりであるため、現段階では、各委員の所属についても、どのWGに移ってもいいと認識している。

そのため、協力員の選出については、参加を希望する協力員がいた場合は、ひとまずWGに参加していただき、そのWGで承認が得られれば、全体会で諮るという形にしてはどうか。

[ 委員]

会長のおっしゃったとおり、これまでは任期切れになった委員が協力員として所属することが多かった。協力員が新たに所属するケースが久々だったため、改めて整理をするという意味で提案させていただいた。

ただ、運営要領の記載が古いので、この全体会の場で共通認識を持っておく必要がある。

[ 委員]

運営要領が古いなら変えてしまってはどうか。

[事務局]

運営要領の変更については、二役会での調整のうえ、変更する場合は全体会で諮っていくこととしたい。

[ 会長]

過去に郷土文化推進部会では、餅つき唄の 会長（市職員）が協力員として所属していた。スポットで所属する場合には、全体会にて報告してもらうことも必要と感じる。

[事務局]

飛び込みで参加される場合においては、全体会で諮ることとしたい。委員の推薦であれば各WGに所属してから全体会で諮るという手順でよいか。

[ 委員]

緑と花いっぱい推進活動事業は今後も継続になるのか。

[事務局]

受入先がまちづくり協議会しかないため、その枠組みの中で実施していく。

[ 委員]

広報WGについて、ポータルサイトを一から作り直すということに違和感を感じた。過去に構築したものをなくすのはいかがなものか。

[ 副会長]

昨年までの広報WGの取組の中で修正等は随時行っており、現状の枠組みの中でこれ以上改変をするには限界があるため、新規で作り直したほうが良いのではないかという議論になった。

[ 委員]

片瀬地区交通安全対策協議会では、今でもポータルサイトの更新を続けている。既存のものをなくすことは反対。前よりは改善されていると個人的には感じている。

[事務局]

片瀬地区ポータルサイトや藤沢市ホームページにおいても、見づらいという意見は複数件あるのは事実であり、転換期であると認識している。

ただし、各地域団体で事業実施の連絡等で活用していることも事実としてある。そのため、もし新規で作り直すのであれば予算取りや現状のポータルサイトからの移行作業等について広報WGにて検討を進めていただきたい。

(2) 全体会における議題について

前回の全体会にて、各地域団体の課題等を都度全体会にて議題として挙げていくこととした。全体会で議論したい案件について、各地域団体から何かあれば提案いただきたい。

また、今後そのような案件がある場合は、事前に事務局に相談いただき、二役会で諮ったうえで、全体会にて協議するという形としたい。

【質問・意見】

特になし。

【決定事項】

異議なし。今後、各地域団体で課題等があれば、その都度全体会で議論していくこととする。

(3) 目白山に設置した「まちかどミニベンチ」について

委員から8月3日(土)に開催した夏期江の島周辺夜間パトロールの際に、目白山下駅近くにあるはネジ等が飛び出しており、危険な状態であるご指摘いただいた案件。

ご指摘いただいた直後に事務局の方で応急処置は実施しているため、現在安全性については問題ない状況。目白山に設置してあるベンチ以外にも、まちづくり協議会として設置したベンチが複数あり、このタイミングで既存のものについて精査させていただきたい。資料2のとおり過去のデータを踏まえて作成した。既存のベンチについて今後の方向性等について委員の皆様にご意見を伺いたい。

【質問・意見】

[ 委員]

ベンチを新規で作るのであれば、その後の維持管理も含めて検討していくべき。ベンチを設置することについては賛成。

[ 委員]

ベンチ事業について説明させていただく。過去まちづくり協議会の中に、まちづくり推進部会というものがあり、その部会にて一休みできる場所を検討し、ベンチを設置した経過がある。

メンテナンスについては、部会が存在している間は部会が実施していたが、部会が解散し、事務局も職員が変わっていく中でそのままになってしまった。部会も解散したため、過去に設置したベンチの在り方等について、全体会で議論していくべき。

[事務局]

事務局の方で現地確認をしたが、是非委員の皆様にも今後現地確認していただければと考えている。現状確認の中で、今後メンテナンスを継続していくのか、撤去していくのか等について協議していくこととしたい。

[ 委員]

撤去するのであれば、設置している町内会等に利用しているか確認した方が良いのではないか。

[ 会長]

地元町内会への確認は必要と感じている。その必要性についてはまちづくり協議会と町内会で協議していくべき。

[ 委員]

地区内が高齢化しているのでベンチはあったほうが良い。現状確認を行っていき、必要不必要の精査を行っていく必要は感じている。その中で町内会の意見聴取は必要と感じている。

[事務局]

湘南白百合小学校付近のベンチも現地確認を行ったが、雑草が生えていて座るのが困難になっている。

[ 委員]

メンテナンスは町内会がやることとなっている。この場合だと、片瀬海岸2丁目町内会がメンテナンスしていないだけ。

[ 委員]

ベンチを設置することに対して反対意見はないと感じている。残っているベンチについては、自治会との協議の中で残すか、撤

	<p>去するか判断すればよいと感じた。</p> <p>[事務局] 今回は資料提示しただけであり、今後について近所等を確認していただき、まち協としてベンチの在り方を検討していきたいと考えている。</p> <p>[ 委員] すべてのベンチにまちづくり協議会のステッカーは貼られているのか。</p> <p>[事務局] すべてには貼られていない。</p> <p><b>【決定事項】</b> 次回全体会までに各自でベンチの状況についてご確認いただき、今後全体会において継続的に議論していくこととする。</p>
<p>その他</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 当面に日程について 次回の全体会については、10月24日(木)となっているが、その日程について委員の皆様にご意見を伺いたい。また、会議開催時間は交互にしていく形としたいが委員の皆様のご意見を伺いたい。</p> <p><b>【質問・意見】</b></p> <p>[ 委員] 夜間に出席できる委員の方が多いため、3回に1回昼間の開催としたい。</p> <p>[ 委員] 実績からみると、夜間昼間で出席人数はさほど変わらないので、交互の方が公平性を保てるのではないかと。</p> <p>[事務局] 過去には、昼間の開催時間で統一していたが、夜間しか出れないという委員がいたため、3回に1回夜間開催にしたことが過去に経過としてあった。 今回の議論を見ていると、昼間がいい人も夜間がいい人もいるため、公平性の観点から交互としたい。</p> <p>[ 委員] 来月以降の会議日時において改めて事務局から周知いただきたい。</p>

[事務局]

来月以降の会議日時について、後日メール等で周知させていただきます。

**【決定事項】**

昼間（15時～）夜間（18時～）からの交互開催とする。

〈参考：今後の全体会日程について〉

10月24日（木）18時～

11月21日（木）15時～

12月19日（木）18時～

1月24日（金）15時～

2月20日（木）18時～

3月21日（金）15時～

〈参考：各WGの次回日程について〉

片瀬&江の島歴史文化見直しWG 10月23日（水）17時～

ごみとマナーの向上を考えるWG 10月2日（水）16時30分～

生活防災を考えるWG 10月21日（月）15時～

広報WG 10月11日（金）18時～

(2) 市政運営の総合指針 2024 の改定に伴う意見交換会の開催について

次回の全体会にて企画政策課が説明する予定。

(3) J J B Cの清算報告について

資料3のとおり事務局から説明。繰出金については、「片瀬・江の島まちづくり活動基金」に繰入することとする。

**【質問・意見】**

[ 委員 ]

各WGにおける来年度予算の申請期限はいつまでになるのか。

[事務局]

各WGで検討いただき、9月末までには申請をいただきたい。

(4) 森井センター長から報告事項

ア 市民センター駐車場の有料化について

来年1月15日（水）より市民センター駐車場がタイムズ24(株)による管理・運営体制となり、一部有料化になる予定。まだ料金体系等は決まっていないが、地域団体やサークル活動の際に利用する場合は一部減免（2時間無料）になる見込み。詳細は別途お知らせする予定。



	<p><b>【質問・意見】</b>  [ 委員 ]  片瀬市民センターの全ての駐車場が有料化になるのか。  [事務局]  第2駐車場のみ有料化になり、片瀬市民センター前の駐車場は公用車及び障がい者用の駐車場となり、一般利用できなくなる見込み。</p> <p>[ 委員 ]  駐車場の形態は車止め等がある形式か。車止めがあると公民館祭りの際に邪魔になる懸念がある。</p> <p>[事務局]  ショッピングモール等で見かけるカメラでナンバープレートを読み取る形式であるため、車止め等は設置しない形式となり、公民館祭りも今までどおり開催することができる見込みとなっている。</p> <p>イ 市民センター・公民館の一体化について  来年度の組織改正により、市民センター・公民館が一体化することになり、公民館がなくなる。ただ、公民館機能を失うわけではなく、市民センターに一本化されることとなるため、今までのサークル活動や社会教育事業は継続して行っていくことから、現状から大きな変化はない見込み。  ただ、今まで公民館事業と地域団体の活動は別々で取り組みをしていたが、一本化することでお互い協力しながら地域活動を活性化していこうということを目的としている。</p> <p><b>【質問・意見】</b>  [ 委員 ]  公民館職員はどうなるのか。  [事務局]  地域づくり担当職員として一本化することとなる。今年度まで公民館職員として従事した職員も、来年度以降は地域づくり担当の職員として地域団体等の業務に携わるようになる予定。</p> <p>6 閉会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
<p style="text-align: center;">次回会議 開催日時・場所</p>	<p>次回全体会  日時 2024年（令和6年）10月24日（木）18時から  場所 片瀬市民センター ホール</p>